

# 大里中学校 美術科シラバス 3 学年



教科書名「美術3（日本文教出版）」  
補助教材「美術資料」

## 1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考える。主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 2 授業の進め方

- ・題材ごとに理論や技法を学習してから制作し、題材終了時に作品を提出する。制作にあたっては、ワークシート やアイデアスケッチを通して構想を練り、見通しを持って取り組む
- ・鑑賞の授業では、まず対話型鑑賞を行ってから、作品の技法や歴史背景について学習する。
- ・全体への説明の他に個人添削や机間巡視を行い、生徒それぞれの意図や工夫に応じた指導を行う。
- ・グループでの鑑賞や話し合い等、主体的・対話的を適宜取り入れる。
- ・題材の最後には完成した作品を相互に鑑賞し、意見交換を行う。

## 3 学習上の留意点

- ・授業には、美術バッグセット（絵具セット、教科書、資料、ファイル）とタブレットを持ってくること。
- ・個々の材料や道具には記名をして管理すること。
- ・自分も他者も集中して授業に取り組めるように気を配り、準備や後片付けを徹底すること。
- ・提出物の期限を遵守すること

## 4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・アイデアスケッチやプリントを管理するためのファイルを1年時に配布する。3年間持ち上がりで使用する。
- ・画用紙、粘土、版画セットなど、基本的な材料等は授業時に配付する。
- ・題材によっては、上記に加えて各人で素材を持参する。
- ・生徒の意図に応じて、美術室内本棚の図鑑や図書を参考文献として自由に参照できる
- ・技法の伝達や、表現技法の模索（アイデア）として美術資料、オンライン教材を使用する

## 5 単元テスト

- ・実施しない  
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

## 6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○材料や道具の特性を理解し、使用することができる。 ○見通しをもって、丁寧な作業工程である。 ○作品の完成度を高め、仕上げるすることができる。	○個性豊かな感性である。 ○アイデアなどの発想力が豊かである。 ○表現したい内容に合わせて、材料や道具の工夫がある。 ○作品の内容を深く思考し、表現することができる。	○制作時間の見通しをもって、計画的に取り組む仕上げるができる ○最後まで粘り強く取り組むことができる ○毎時間のめあてとふりかえりを通して自身の学習進度を把握して授業に臨める
方法	○学期課題の提出作品。 ○授業中の制作のようす。 ○ワークシート など	○学期課題の提出作品。 ○授業中の制作の様子。 ○制作途中のアイデアスケッチ。 ○ワークシートの表現	○授業中の様子。 ○課題制作の様子 ○振り返りシートなど

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・芸術としての漫画表現 *漫画の技法を活用した作品制作</li> <li>・自分を表現する色 *染め紙の制作</li> <li>・仏像の姿に見る人々の祈り *美術作品としての仏像の鑑賞</li> </ul> 1学期のふりかえり 夏休み課題説明・題材設定など	授業姿勢・作品やワークシート等提出課題の成績を総合的に勘案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画の表現の効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>・単純化や省略、強調、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、心豊かに表現する構想を練っている。</li> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、感じ方を深めている。</li> </ul>
	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色の技法などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージでとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。</li> <li>・装飾の目的や条件を基に、飾る場所、イメージなどから主題を生み出し、洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。</li> <li>・作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>
	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔や手の表情や、質感、空間などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解し、受け継がれてきた表現の特質などから仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>
	7			
2 学期	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身を見つめて *自画像の制作</li> <li>・あの日を忘れない *ポスターやアート作品の鑑賞</li> <li>・動きで伝えるメッセージ *動画作品制作</li> </ul>	授業姿勢・作品やワークシート等提出課題の成績を総合的に勘案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しを持って創造的に表している。</li> <li>・感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、心豊かに構想を練っている。</li> <li>・作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>
	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩などが感情にもたらす効果や、物の組み合わせや構図などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>
	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラの特性を生かし、自分の表現方法を見通しを持って創造的に表している。</li> <li>・テーマや伝えたい内容などを基に、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</li> <li>・テーマや伝えたい内容などの美しさなどを感じ取り、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>
	11			
	12			
3 学期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを込めた卒業記念品 *篆刻作品制作</li> </ul>	授業姿勢・作品やワークシート等提出課題の成績を総合的に勘案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料の質感など全体のイメージでとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。</li> <li>・使う場面や思いなどから、調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。</li> <li>・表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>